

小規模企業景気動向調査

[平成29年1月期調査]

～全項目で悪化に転じ、3ヶ月連続して好転していた勢いが止まった小規模企業景況～

2017年2月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全項目で悪化に転じ、3ヶ月連続して好転していた勢いが止まった小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅に悪化した。項目別では、売上額DI、採算DIが大幅悪化、資金繰りDIは小幅に悪化し、全項目で悪化を示した。ここ3ヶ月は連続して好転していたが、その勢いが止まった格好となった。特に売上の大幅悪化が目立った。製造業と建設業を中心に人手不足感があつたが、小売業・サービス業にまで広がってきたことや、原材料価格の高騰が要因となって売上や採算に影響を及ぼしていると指摘する報告が多く挙げられた。

<製造業> ◇…一部業種に需要の高まりが感じられるものの、依然として展望が見いだせない製造業…◇

製造業の業況DIは、先月から一転小幅な悪化となった。売上額DIは大幅悪化となったが、採算DIと資金繰りDIの悪化幅は小幅となった。経営指導員からは、寒さが深まる中で、コンビニエンスストアで販売されるおでん用具材を製造している食料品製造業では、受注量が増加し、引き合いが高まっている一方で、自動車・同付属品製造業では仕事は多いが、利幅が少なく利益増が見込めない、また、水産食料品製造業では、原料である鮭、烏賊、鯖、鰯が不漁により価格が高騰し、調達困難な状態が続いており、生産調整にて対応しているとの報告があつた。

<建設業> ◇…売上額DIが2桁悪化となり、人材不足、原材料価格高騰で先行き不透明な建設業…◇

建設業の業況DIは、先月から一転小幅な悪化となった。売上額DIは15.2ptも悪化し、DI値の2桁悪化は4カ月ぶり。採算DIと資金繰りDIも大幅悪化となった。そのような中、好転材料としては、1月中旬から下旬にかけて除雪需要が発生したことや、管工事業や設備工事業では、環境基準に応じた設備更新や住宅の新設・リフォームにより業務多忙であるとの報告もあつた。一方で、鋼材や重油価格の上昇や公共工事の減少・安価発注に伴い採算は厳しい、また、人手不足による受注機会の損失、工期の長期化などの報告があつた。

<小売業> ◇…冬物商材に動きが見えるも、人手不足等の問題により深刻さが極まる小売業…◇

小売業の業況DIは、4ヶ月ぶりに小幅な悪化となった。売上額DIは大幅悪化、採算DIは小幅な悪化、資金繰りDIはわずかな悪化となった。1月中旬から下旬にかけて冷え込みが強まった地域では、灯油消費量が高まり燃料小売業を中心に売上を伸ばしている。また、衣料品・食料品を中心に冬物商材の動きも活発さを見せている。ただ、人手不足は製造業や建設業だけではなく小売業にも及んでおり、思うような営業活動ができない、また地域の消費者人口の減少や個人消費の低迷により景況感の回復は感じられないとの報告があつた。

<サービス業> ◇…先月までの緩やかな回復基調から一転、売上額・採算・資金繰り共に大幅悪化したサービス業…◇

サービス業の業況DIは、先月から一転小幅な悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは12.0ptの悪化、採算DIと資金繰りDIも大幅な悪化となった。経営指導員からは、降雪に伴い、スキー・スノーボー等のウィンタースポーツやワカサギ釣り等の多様な楽しむことができる地域や自治体をあげて外国人観光客の誘致に成功した地域では、活況を呈している、一方で、サービス業においても人手不足の傾向が高まるとともに、併せて円安に伴う原油価格高騰が響き、回復にはほど遠いとの報告があつた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 12.1	▲ 21.9	▲ 9.8	▲ 5.5	▲ 11.6	▲ 6.1	▲ 2.5	▲ 17.7	▲ 15.2
採算	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 5.7	▲ 12.4	▲ 15.0	▲ 2.6	▲ 10.8	▲ 19.9	▲ 9.1
資金繰り	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 3.8	▲ 11.0	▲ 13.6	▲ 2.6	▲ 7.2	▲ 13.2	▲ 6.0
業況	▲ 17.5	▲ 21.2	▲ 3.7	▲ 13.5	▲ 16.2	▲ 2.7	▲ 10.8	▲ 15.7	▲ 4.9

業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 25.6	▲ 31.2	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 27.0	▲ 12.0
採算	▲ 23.3	▲ 28.1	▲ 4.8	▲ 13.6	▲ 19.8	▲ 6.2
資金繰り	▲ 19.1	▲ 20.7	▲ 1.6	▲ 9.3	▲ 14.3	▲ 5.0
業況	▲ 26.7	▲ 31.2	▲ 4.5	▲ 18.8	▲ 22.0	▲ 3.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

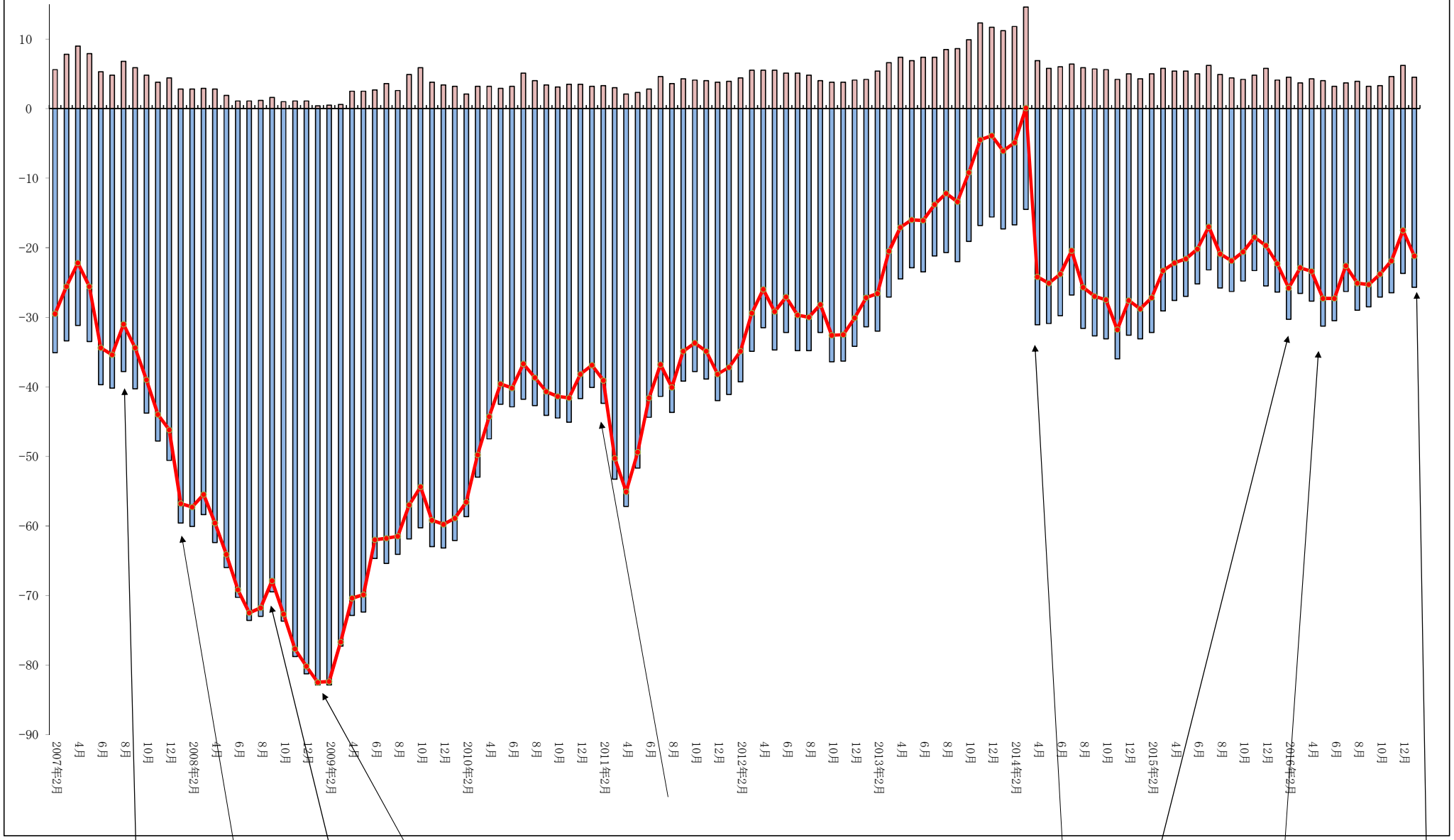
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引
上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年6月23日
英国のEU離脱に
関する国民投票

17年1月
-21.2

小規模企業景気動向調査(1月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・金融機関の貸し出し意欲は強く、低利のプロパー融資を少額でも実行する傾向が強い
(埼玉県宮代町商工会)
- ・自動車関連を中心に好調であるがアメリカ新政権の影響が懸念される。為替の動向に注目している。
(長野県佐久市望月商工会)
- ・映画「君の名は」ブームが日本から世界へ広がり、年明け以降は中国・韓国客が急に増えた。
(岐阜県古川町商工会)
- ・金融機関では貸出を積極的に行っている。借り入れを希望している事業所では、資金の内容で設備投資が以前よりも多くなってきている。
(東京都小平商工会)
- ・小規模事業者持続化補助金に取り組まれた事業所においては、将来を見据えた経営計画等で経営者自身も危機感を持ち、対応した事で売上の伸びが見られる。
(兵庫県上郡町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・年越し以降各業種ともあまりいい状況とはいえない。北陸新幹線効果も金沢周辺のみ効果といった具合である。当町は事業主の高齢化が進んでいることもあり、設備投資には消極的である。故に融資需要も低迷している。
(石川県志賀町商工会)
- ・地域の基幹産業である観光業が外国人観光客の減少のため低調で、関連産業にも悪影響を及ぼしている。明るい展望が描けない状況にある。
(山梨県笛吹市商工会)
- ・年末年始の反動から、1月を通して見ると小売業は売上減少傾向である。対して宿泊業は、H28年に国が行った九州ふっこう割が終了してしまったため売上減するかとされていたが、町が震災復興対策として行ったプレミアム旅行券の効果もあり好調を維持している。
(大分県九重町商工会)
- ・従業員の確保が難しく、事業の継続が困難になってきているところが出てきた。
(富山県南砺市商工会)
- ・人手不足の話題が多くなってきた。1月の高校生面接会に高校生5人に事業所が20数社が参加という状況。また、コンビニ、飲食店厨房求人にも人が来ない。従業員集められないから工場進出を断念した会社があるとの話題もあり。
(茨城県高萩市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・食品加工製造関連の製造業は、季節商品などを取り扱っている企業においては受注量が増加している。
(新潟県黒埼商工会)
- ・金属加工製造業は受注好調である。前年同月比で10%ほど売り上げ増加している事業所もある
(佐賀県唐津上場商工会)
- ・電気機械器具製造業者では、エアコン向けの受注が好調で、生産・採算とも好転している。
(滋賀県甲良町商工会)
- ・鉄鋼業は、機械修繕の仕事が切れ目なく入っているため比較的安定している。
(愛媛県双海中山商工会)
- ・食料品関係の製造業者は直売所販売や、ネット通販などで売り上げを伸ばしている事業者が多い。今後生産力を上げるための設備投資が課題となっている。
(福岡県糸島市商工会)
- ・発酵食品関連の製造業は、甘酒ブームの影響で品薄状態が続いている状況となっており、依然好調を維持している。
(岡山県瀬戸内市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・プレス関係の製造業は、仕事の依頼は多いが、利幅が少ない仕事が多い。機械を遊ばせておくよりはと受けてはいるが、以前なら、今回は利幅のいい仕事を回してくれるようなこともあったが、最近では期待できない。
(静岡県新居町商工会)
- ・引き続き、製造業全体として、小ロット受注のため、利益を上げにくい状況になっている。
(奈良県平群町商工会)
- ・繊維工業関連の製造業において、ポロシャツやワイシャツ類については、昨年の暮れより発注先の商社から前年と同じようなデザインでは販売しにくいとのことで、デザインの改良が求められているが、それに伴う工賃等(単価)へのスライドは全くない状況にある。
(愛媛県長浜町商工会)
- ・食品関連の製造業については、風評被害の影響からの脱却が難しく、受注数が回復してこない。
(福島県内郷商工会)

・水産加工関連の製造業は、原料の高騰や調達困難な状況が続いており、生産稼働の調整（一部製造品の休止やリストラ）で対応している。

（青森県大畑町商工会）

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・公共工事関連の建設業は請負工事の増加により増加傾向にあり、今後にもわたってもある程度の需要が見込まれている。

（宮城県本吉唐桑商工会）

・今年も暖冬かと思われるほど雪が降らなかったが、1月15日に降りだした大雪によって、除雪需要が例年通り生まれた。昨年は雪が降らず除雪需要がなかった分、冬期間の仕事が少なく売上に響いていた。

（岐阜県古川町商工会）

・公共工事に依存している建設業においては、トータル的に見れば景況としては改善傾向にあるが、これは、事業規模縮小や人員の削減等によるものと、全体のパイが減少したことが窺える。

（愛媛県長浜町商工会）

・管工事・空調設備工事などで環境基準に応じた設備更新やリフォーム・新築などで大変忙しくなっている。一方で、建具などの需要は減少が続いており売り上げも減っている。

（香川県高松市中央商工会）

<悪化傾向を示すコメント>

・土木関連の建設業は、公共工事の減少と元請からの安価な発注が続き収益が確保できず、事業継続さえ厳しい状況が続いている。

（群馬県中之条町商工会）

・建設業は年度末の発注でどの建設業者も多忙。人手不足の声が聴かれる。

（佐賀県唐津上場商工会）

・リフォーム補助金の影響で住宅関係の建設業は受注は多いが、依然人手不足は深刻である。

（群馬県群馬伊勢崎商工会）

・土木関連の建設業は、公共工事の減少と元請からの安価な発注が続き収益が確保できず、事業継続さえ厳しい状況が続いている。

（群馬県中之条町商工会）

・個人住宅の受注は、順調であるが、鋼材の価格が上昇傾向にあり採算面では厳しい。また、人手不足は改善せず、人件費の上昇や受注損失、工期の長期化につながっている。

（香川県さぬき市商工会）

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・外国人観光客が年々増加しており、インバウンドに対応した商品提供を行っている店舗については売上増加の機会が増えている。

（長崎県対馬市商工会）

・燃料関連事業者では、集合住宅の建築需要を背景に販売を伸ばしていることや、住宅リフォームが堅調なことから、売上・採算が好転している。

（滋賀県甲良町商工会）

・最低気温が氷点下15.6度まで冷え込んだ日もあり灯油消費量は増加した。また、もち米の消費拡大を図るイベントを開催し参加飲食店の回遊を誘導し新たな客層を掘り起し売上アップに繋がった。

（宮城県丸森町商工会）

・衣料品は気温の低下に伴い、衣料品を中心に冬物商材に動きがみられた。飲食料品は年始もあって好調に推移、鍋もの系食材、精肉が好調。耐久消費財は年始での買換需要が比較的好調だった。

（富山県射水市商工会）

<悪化傾向を示すコメント>

・地域内の人口減少や高齢による老人施設入居者増加のため、一般生活関連の小売業は、顧客そのものが減少している。今後も売上減少傾向は続くと考えられる。

（石川県山中商工会）

・衣料品小売業について、学生服の販売を行っている事業者から、学生数がどんどん減少しており、売上も減少しているとのこと。業態変化等について早急に手を打つ必要がある。

（山口県大島商工会）

・従業員不足で思うような営業活動が出来ていない店舗もある。

（兵庫県上郡町商工会）

・衣料品関連の小売業は、個人消費の低迷が続いており、景況感の回復は感じられない。

固定客に支えられながら、売上高は維持しておているが、仕入単価が上昇傾向。

食料品関連の小売業は、大手スーパーに押され、経営状況は厳しい。

耐久消費財関連の小売業は、暖房機器等の需要も停滞。売上高は、年々減少。

（鳥取県中部商工会産業支援センター）

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・旅館関連のサービス業は、新年会、ケイタリングとも昨年に比べ微増、企業利用の宿泊が順調である。
洗濯関連のサービス業は、前年同月と比較し、大きな変化はない。
理・美容関連のサービス業は、地区内で暫く休業していた店があり、その影響の売上げが秋ごろまであったが、その後は例年並みに戻った。

(岡山県作州津山商工会)

・冬期間で降雪量も例年並みになっている為、スキー等のウィンタースポーツを楽しまれる方やワカサギ釣りを楽しまれる方も例年並みにおいで頂いている為、宿泊・飲食業等のサービス業売上げが多くなってきている。

(福島県北塩原村商工会)

・宿泊業は週末は満室となる事業所も多くあり、好況である。平日もインバウンド客を中心に団体客の集客ができて

いる。

(大分県九重町商工会)

・造園関連のサービス業の中には、地域資源を活用した肥料の開発などにより、新たな顧客創出を目指す企業も出てきている。

(岡山県瀬戸内市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・警備業者では、得意先である流通業の業況低迷を受けて、受注量および単価とも減少傾向にあるほか、人手不足の慢性化によって、売上・採算とも先行きの悪化を見込んでいる。

(滋賀県甲良町商工会)

・観光客の入域も増えサービス業関連は好調であるが、人材不足もあり売上が伸ばしきれない状況である。

(沖縄県南風原町商工会)

・洗濯業関連のサービス業においては、原油高騰の影響を受け、材料である石油系ドライ溶剤についても値上がっており、止まるところがなく採算は益々とりにくくなる傾向にある。

(愛媛県長浜町商工会)

・運送業は、荷動きは活発であったが、人件費や燃料費の上昇が響き利益は伸びていない。飲食は、寒波の影響で客数が減少した。

(香川県さぬき市商工会)

・月末に中国の春節を迎えたが、石和・春日居温泉郷へのインバウンドの入れ込み客は対前年比軒並み20~35%の減少、日本人観光客の入れ込みも例年を下回り、旅客運送業や飲食・サービス業にも悪影響が出た。

(山梨県笛吹市商工会)